

地域おこし協力隊の活動日誌

地域の新しい活力をめざして



地域おこし協力隊員の活動をお伝えするこのコーナー。今回は甲斐隆児隊員が取り組んでいる、「新富芸術祭」について紹介します。

○地域の「アート」をとらえた芸術祭を開催

こゆ地域づくり推進機構は、宮崎県新富町の魅力をアートの手法を用いて発信する、地方創生交付金事業「歩いて楽しむ芸術家まちづくり事業」の一環として、11月3日から「新富芸術祭2021」を開催しています。令和4年1月

30日までの期間中、町内の各所で県内外で活躍中のアーティストによる作品発表やワークショップが実施される予定です。

新富町では初めての開催となる今回の芸術祭では、全体のアートディレクションを甲斐隊員が担っています。地域おこし協力隊に着任する以前から、地方や地域のアート性に注目してきた甲斐隊員は、新富町全体を芸術としてとらえ、事業を企画してきました。

そこで、新富芸術祭では「地域の暮らしや営みがアート」「合言葉はありがとう」の2つをコンセプトとしました。アートと感謝の視点で地域を捉えたときに、新富町内の生産者やここに住む人の暮らしの中にもアートがあること、新富町にもまだまだ多くの魅力があることを発信していきたいと考えています。



うとチャレンジしていきます。



11月3日のオープニングプログラム「廣津留すみれトーク&デュオコンサート」では、町内外から300名近くの方にご来場いただき、国際的に活躍する音楽家である廣津留さんのトークと、ピアニストの河野紘子さんによる華やかな演奏で幕開けしました。駅や水沼神社の境内には、ワークショップで参加者と一緒に制作した作品を展示しています。お立ち寄りの際はぜひご覧ください。総合交流センターきらりの和室での展示も準備中です。

また、県内を拠点に活動する劇団「ユニットあんでな」による演劇イベントや、クロージングプログラムとして書道家の武田双雲さ



新富芸術祭2021の詳細はこちら



詳しい日程や場所につきましては、右のQRコードを読み込むか、新富芸術祭2021の公式ホームページをご覧ください。

(文責・総合政策課有馬)